

デジタルインボイス推進協議会 全体報告会

開発支援部会 活動報告

2026年7月1日（木）

開発支援部会

ウイングアーク1 s t 株式会社（略称：WA）

小野 優貴

アジェンダ

- 1) 開発支援部会 活動報告
- 2) JP PINT利用時のガイドライン更新について
- 3) 今後の予定

1) 開発支援部会 活動報告

■ 開発支援部会 全体活動報告

活動区分	対象	実施回数	実施期間・実施内容/成果物	状況
コアチームMTG	7社（幹事法人）	14回	活動方針／年間計画・進捗確認	継続
サービスプロバイダーチーム	コアチーム：4社 会員全体：13社	5回	2025年10月～2025年12月 EIPA会員内サービスプロバイダー15社から参加希望受領	一旦完了
Peppol請求PJ	コアチーム内：4社	7回	2025年11月～2026年2月 ・『Peppol請求に関する移行検討』報告書 ・EIPA会員向け Peppol請求対応システム 導入・運用 RFP（提案依頼書）	完了
課題検討WG	会員全体：15社 レポート作成：7社	8回	2025年11月～2026年3月 ・『Peppolデータ入力シート』への登録（15社） ・WGテーマ③データ項目使用状況の共有	完了
相互接続テスト	会員全体：25社	4回	2026年1月～2026年3月 ・会員間の相互接続テスト（第3回）結果公表 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000126358.html	完了
ガイドライン更新チーム	コアチーム内：5社	4回	2026年5月～2026年6月 ・JP PINT利用時のガイドライン(Ver. 2.0)_20260701	完了

2) JP PINT利用時のガイドライン更新について

■ JP PINT利用時のガイドライン 更新検討経緯

時期	起点	実施内容／成果物
2024/5	サービスプロバイダー間（C2C3）テスト実施後の振り返り	・ガイドライン見直しの意見があり今後課題検討会を開催することで合意
2024/8～2025/1	課題検討WG実施	課題検討WG成果物 ①20250116_開発支援部WG_テーマ1 マイグレーションキーについて ②20250116_開発支援部WG_テーマ2 部署毎の振り分け課題対応
2025/10/2	開発支援部WGコアチームMTG	技術ドキュメントの位置付けと今後の更新方針を確定 ・テクニカルドキュメント：更新は行わない ・JP PINT利用時のガイドライン：JP PINT更新に合わせ（年1～2回程度）更新作業の実施判断はコアチームで行う ・WGLレポート：課題検討テーマ毎開催（年2～3回程度）JP PINT利用時のガイドラインへ掲載 課題検討WGの結果をまとめ、ひとつに纏まらない場合は複数方式を併記 ・WGLレポートテーマ確定：『JP PINTデータ項目使用状況の共有』
2025/11/27	第6期開発支援部WG 第1回全体連絡会	・課題検討WG参加メンバー募集と『Peppolデータ入力シート』への登録を依頼
2025/12/11	課題検討WGキックオフ（参加希望：18社）	・WGLレポート作成チーム（参加希望：7社PCA・TKC・OBC・弥生・WAP・MJS・FA） ・ファシリテーター決定（PCA宮園さん・TKC土井さん）
2025/12/25～2026/3	WGLレポート作成チーム（7社）	『Peppolデータ入力シート』（15社17システム）を精査。 ガイドライン記載案8項目を提案
2026/3/12	課題検討WG 全体会（参加：15社）	WGLレポート作成チーム成果物 ⇒ 最終提案4項目 賛成多数で承認 ③20260326_WG_テーマ3_データ項目使用状況の共有
2026/3/23	開発支援部WGコアチームMTG（対象：7社）	ガイドライン更新テーマ①②③ ⇒ 満場一致で承認決議 ・ガイドライン更新チーム募集（参加：4社TKC・MF・WAP・WA、アドバイザー：1社OBC）
2026/5～6/18	ガイドライン更新チーム	JP PINT利用時のガイドライン(Ver. 2.0) ⇒ 満場一致で承認
2026/6/25	開発支援部WGコアチームMTG（対象：7社）	JP PINT利用時のガイドライン(Ver. 2.0) 最終決議の確認 ⇒ 数ヶ所修正指摘
2026/6/30	開発支援部WGコアチームMTG（対象：7社）	JP PINT利用時のガイドライン(Ver. 2.0) 最終決議の確認 ⇒ 満場一致で承認

2) JP PINT利用時のガイドライン更新について

■ 更新版：JP PINT利用時のガイドライン(Ver. 2.0)_20260701

JP PINT利用時のガイドライン

Ver. 2.0

2026年7月1日

デジタルインボイス推進協議会

開発支援部会

EIPA

デジタルインボイス
推進協議会

E-Invoice Promotion Association

目次

1. はじめに..... 1

1-1. 企業の業務効率化と生産性向上に資するデジタルインボイスの普及に向けて..... 1

1-2. 本ガイドラインの位置づけ..... 1

2. 注意するポイント..... 1

2-1. 日付..... 1

2-2. 通貨..... 1

2-3. 金額..... 2

2-4. 国..... 2

2-5. その他定型的なコード..... 2

2-5-1. Invoice type code..... 2

2-5-2. Business process type..... 2

2-5-3. Specification identifier..... 2

2-6. JP PINTで定められている税額の表記方法..... 3

2-6-1. 明細..... 3

2-6-2. 税率別内訳..... 4

2-7. JP PINTで定められている事業者の識別子..... 5

2-7-1. Seller/Buyerの識別子..... 5

2-8. 事業所..... 6

2-9. 価格単位..... 6

2-10. 政府電子調達（GEPS）へのデジタルインボイス送信..... 7

3. EIPAによる推奨事項..... 7

3-1. 期間日付..... 7

3-2. 時間..... 7

3-3. 金額..... 8

3-4. 氏名又は名称..... 8

3-5. 部署・担当者への振り分け..... 9

3-5-1. 背景と課題..... 9

3-5-2. 推奨利用項目（優先順位）..... 9

3-5-3. 各項目の詳細..... 9

3-6. 住所..... 10

3-7. 銀行口座情報..... 11

3-8. 表示単位..... 11

3-9. 月締め等の請求書..... 12

3-10. 繰越残高、入金額、及び源泉所得税等について..... 13

appendix..... 20

1. Peppolサービスプロバイダの切り替え（マイグレーションキーの取り扱い）..... 20

1-1. 概要..... 20

1-2. プロバイダ切り替えの2つの取り扱い..... 20

1-3. EIPAとしての推奨..... 21

1-4. 参考情報..... 21

2) JP PINT利用時のガイドライン更新について

■ 注意喚起・改訂履歴

[注意喚起]

本ガイドラインはデジタルインボイス推進協議会(EIPA)として策定しているものであり、何ら拘束力を持つものではない。本ガイドラインでは、デジタルインボイスの標準仕様 (JP PINT) に準拠するうえでの注意すべきポイントと、普及や活用に向けたEIPAとしての推奨事項を記載している。このうち推奨事項は、デジタルインボイスとして送受信するうえで必須となるものではなく、日本の商慣習や業務効率化の観点からEIPAが示す任意の事項である。なお、ソフトウェアベンダー各位においては、スムーズな連携に向けた自社製品やサービスへの実装、ならびに対応状況の積極的な開示への配慮をお願いしたい。

改訂履歴

JP PINT利用時のガイドライン 改訂履歴 (Ver. 1.0 → Ver. 2.0)

改訂日	履歴	改訂内容の概要
2023年 10月5日	Ver. 1.0	・Peppol BIS Standard Invoice JP PINT Version1.01 (日本の「デジタルインボイス」の標準仕様 (適格請求書)) に準拠して作成
2026年 7月1日	Ver. 2.0	・準拠する標準仕様のバージョン更新 (Version 1.1.2) に伴う全体的な文言・構成の変更 ・前書き (「はじめに」) の追加 ・「政府電子調達 (GEPS)」に関する項目の追加 ・「部署・担当者への振り分け (ルーティング)」推奨項目の追加 ・「繰越残高、入金額、及び源泉所得税等」の添付資料 (XML) 対応の追加 ・「合算請求書」の名称変更および記載方法の整理 ・付録 (appendix) として「Peppolサービスプロバイダの切り替え (マイグレーションキーの取り扱い)」を追加

主な改訂内容の詳細

1. 全体的な構成・準拠仕様の更新
- 前書きの追加: 1章に「1-1. 企業の業務効率化と生産性向上に資するデジタルインボイスの普及に向けて」という、日本国内におけるデジタルインボイス普及への想いや意義を綴った導入文が新たに追加されました。
 - 対象バージョンの更新: 準拠するデジタルインボイスの仕様が「Peppol BIS Standard Invoice JP PINT Version 1.01」から「Version 1.1.2」へと更新されました。これに伴い、目次構成や章番号が全体的に整理されています。
2. 新規追加された項目 (Ver. 2.0からの新機能・運用)
- 政府電子調達 (GEPS) への対応 (2-10, 3-8): 政府調達先企業がデジタルインボイスを送信する際の解説が追加されました。
 - GEPS宛に送信する際、明細ごとの単位は必ず Item attribute value (IBT-161) を使用する必要がある旨の注意書きが追加されています。
 - 部署・担当者への振り分け (ルーティング) に関する推奨事項 (3-5): 買手側が受領したインボイスを社内ですべて自動判別 (ルーティング) できるよう、売手側でセットするデータ項目とその検討の優先順位 (1~3) が定義されました。
 - 繰越残高・入金額・源泉所得税等の詳細な対応方法 (3-10): 従来の注釈欄 (IBT-022) へ記載する方法に加え、新たに添付資料 (IBG-24) に特定のXMLデータを格納して連携する方法が追加され、詳細なデータ項目 (スキーマ表) が定義されました。
 - 付録 (appendix) の追加: 「Peppolサービスプロバイダの切り替え (マイグレーションキーの取り扱い)」という章が新設され、プロバイダ移行時のダウンタイム縮小に関するEIPAの推奨方針 (対応することが望ましいが任意) や留意事項がまとめられました。
3. 変更・修正された項目
- 合算請求書の記載 (3-9):
 - タイトルが「合算請求書」から「月締め等の請求書」に変更されました。
 - 納品書等の単位で明細行を作成する場合、納品書番号等を Item name (IBT-153) に記録する旨の解説が、より月締め商慣習に即した表現にブラッシュアップされています。
 - 銀行口座情報 (3-7):
 - デジタルインボイスでは口座情報がすべてコードで送信されるため、ユーザーの視認性向上の観点から「送受信双方のシステムでコードからテキストに変換することが推奨される」という注意書きが追加されました。

3) 今後の予定

■ EIPA 会員専用ページにて公開予定



請求から「作業」をなくそう。

EIPA

デジタルインボイス
推進協議会

E-Invoice Promotion Association